

道標~みちしるべ~

~体験談を経験値に!! 先生方や先輩から~



E先生

私の高校受験は、約10年たった今でも悔いが残るものになりました(両親ごめんなさい。)第一志望校に合格しましたが、達成感はなかったです。今でも、『どうして当時、死に物狂いで受験や己と向き合わなかったのだろう…』と思います。

何度かお話ししたことがあります。私の志望校の決め手は、高校の昇降口にある「シンデレラ階段」。一目惚れでした。中学校生活では、生徒会も部活も定期試験も自分なりに頑張っていたので、内申はそこまで課題ではなかったと記憶しています。

勉強に本腰を入れ始めたのは、秋頃。遅すぎでした。教師として4月からみんなに厳しいことを言ってきましたが、正直なことをいうと、みんなの方が受験や進路に対して真面目に向き合っていると心から思います。

当日の試験。私の苦手教科は国語だったのですが、ほとんど解けなかった気がします…。数学と英語の筆記、英語での面接で乗り切った高校受験でした。

上記に述べたように、私は模範とならない受験生でした。母が、家庭訪問の時に「本人が望むなら、私立でも構いません。」、と当時の担任に言っていたのを今でも覚えているのですが、私はその言葉に完全に甘えてしまったと言えます。担任に「君は、ここに行くといいよ。」と言われ、きちんと調べずに志望校を決めてしまいました。『シンデレラ階段で志望校決めてごめんなさい』って、今でも思います。

今年、みんなの進路と向き合って色々調べていると、両親にどれだけ苦勞をさせてしまったのだろうかと、自己嫌悪に何度も陥ります。両親にも直接申し訳なかったと、謝罪もしました。私の両親は、「今、自分の夢叶えて頑張ってるんだから、別になんとも思っていないよ。」と言いますが、努力しきれなかった自分・進路に向き合えなかった自分を今でも許せません。なんとなく志望校を決め、流れに任せて合格を手に入れてしまったことが今でも胸に引っかかっています。

第一志望に合格し、大成功に周りから思われそうな私の高校受験ですが、そうではないのです。私は「甘え」で得た合格に罪悪感のようなものをずっと感じています。恐らくこれからも。みんなには、そんな思いはして欲しくありません。

なので、みんなに行きたくて欲しいことは、ただ1つ。悩んで悩んで決めた志望校の合格を勝ち取るために、諦めずに努力し続けること!辛いけど、もがくことをお勧めします。それができたら、5年後も、10年後も過去の自分に誇りを持って人生を送ることができるでしょう。



【28年度 卒業生】

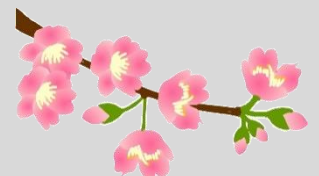
私は後期入試まで残った人なので、後期入試のことを書いておきます。(今年は一本化なので「二次募集」に向けてってことになるかもしれません)

結果発表の前から、しっかり勉強しておかないとダメです!焦ってできなくなるので、しっ

りやっておきましょう。発表の時、不合格だと少なからず、ショックを受けてやる気がなくなります。

でも、落ちたのは一人ではないし、別に落ちることが悪いことではないと思います。その時の「運」によって、得意なところが出るとき、苦手なところが出るとき、こんなあったっけ?ってところ様々です。だから「運」によるし、それまで自分がやってきたことを出し切ることができれば、それはそれでいいと思います。

時間は少ないですが、まだあります。2週間前だったら、もう英国数を必死にやるのではなく、理科社会をやるべきです。



【30年度 卒業生】

国数英で70点以上取るとは大変ですが、理社で70点以上を目指すことは、比較的簡単な

ことなので、面倒くさからず、根気強くやるのが大切だということ、今回の受検で思いま

した。私は前期選抜で落ちた後では、ほとんどの理社の勉強しませんでした。後期選抜の自己採点では理社合わせて60点近く点数を上げることができました。

2週間本気で勉強すれば、結果としてははっきりでるということ学びました。

***Youtubeで「一問一答」のような、まとめ動画も多く配信されています。動画学習も、非常に有効な手段だと思います。必要な分を必要なだけ学習してみる1か月にしてください。(六実中HP「進路通信」に「動画学習シート」もあります。活用してみてください。)**



K先生

公立高校受験については、あまり覚えていません。唯一、明確に覚えていることは受験した高校の『倍率』です。1.05倍でした。確認テスト等でも偏差値や目標点数は常に超えていたので、安心していました。試験の一週間前になって初めて過去問を解いてみると、目標に全然達していませんでした。初めて焦りました。

受験校を決めた理由も家から近いこと、偏差値的に行けそうだからという理由だけで選びました。受験前に高校について調べたり、説明会に行くこともなかったです。(当時高校の説明会があったのかすら不明)絶対にここがいいという明確な意思がなかったため、周りの友達よりも受験への意識は低かったと思います。それにより一週間前にして焦り始めるという事態に発展してしまいました。

結局その一週間勉強をし、自信がないまま受験当日を迎えました。結局、合格はしていたので良かったですが、計画的に勉強することは、受験の自信に繋がると思いました。面接等はなかったのですが、計画的な学習で得た自信は面接等でも有利になると思います。

公立受験まであと1か月。やり残したことがあるまま受験当日を迎えないようにしてほしいです。



N君の高校受験(私立編)

遡ること15年前、当時3年2組2番だった彼は併願推薦でNTK高校を受験しました。以下は試験当日の話です。

1月中旬に受験しました。午前中に国語・数学・英語のマークシート式の試験でした。当時は、英語が得意だと思い込んでいた少年は、国語と数学は自信が持てぬまま午後の試験になりました。(無事に筆記試験が終わったと思っている。)

昼食を終え、いよいよ午後の試験になりました。午後は、面接試験でした。ブースみたいに別れている集団のような個人面接でした。順番が最後の方だった少年は自分の順番が来るまで、面接内容の確認をしていました。

周りの受験生への質問は、「志願理由」や「中学校3年間での思い出」などよく訊かれる質問でした。

いざ、自分の番が来ました。

面接の内容・・・

- ① 今日の試験はどうでしたか。
- ② 3教科の中で、1番自信のある教科はありますか。
- ③ N君の保護者は、怖いですか。
- ④ 保護者に反抗したことはありますか。
- ⑤ しばらく面接官の少年時代の話を聴かされる。
- ⑥ そのエピソードについて、N君の意見を教えてください。



以上6個の質疑応答で終わりました。試験が終わった瞬間、焦りました。今まで面接練習でやってこなかった質問に戸惑ったからです。

数日後、合格通知をもらい安堵した私立高校入試でした。

(嘘みたいな話ですが、本当の話です)